

市町村名	伊江村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	伊江村観光漁業コンテンツ開発事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興		
担当部課名	伊江村役場	農林水産課	事業実施 年度	平成 30	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	伊江村魚類養殖場を活用した、新たな観光漁業のコンテンツ導入を図り、豊かな資源を活用した漁業振興の向上を図る目的として基本計画を策定する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	○年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	4,930				4,930		
	B. 執行済額	3,944				3,944		
	うち 交付金充当額	3,155				3,155		
	執行率(%) (B/A)	80.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	80.0%		
	執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額986千円については入札残によるものである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	観光漁業メニュー基本計画の策定 (ニーズ調査・先進地調査・規模、利用収益調査)		目 標	基本計画の 策定				
			実 績	基本計画の 策定完了				
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	基本計画の策定		目 標	基本計画の 策定				
			実 績	基本計画の 策定完了				
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果		達成／進捗状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 目標/発現年度	
養殖場出荷額(千円)		目 標	9,248	8,969	14,618	22,354	2,911
		実 績	8,969	14,618	22,354	2,911	-
(参考)観光漁業メニュー(釣り筏)利用者数(人)		目 標	4,150	6,227	6,919	6,919	6,919
		実 績	0	0	0	0	-
事業完了後の成果目標 状況説明	【 H30年度】 ・利用者数は、実証用の釣り筏にて83名が体験を実施し、目標値を達成している。 また、修学旅行生を対象としたモニタリングで80名が体験。 ・養殖出荷額は、メバルやタマンを中心にホテルを中心とした飲食業界へ9,948千円の出荷を実施した。						
	【 R1年度】 ・利用者数は、48名となり目標及び前年度実績を下回った。 ・養殖出荷額は、メバルやタマンを中心にホテルを中心とした飲食業界へ9,248千円の出荷を実施した。						
	【 R2年度以降】 令和2年度～令和4年度の利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり0人となり、目標及び前年度実績を下回る。 令和5年度においては、台風の影響により破損した、釣り筏の修繕・整備等に時間を要したことや、教育旅行の受入れについては、コロナの影響もあり、コンテンツ(メニュー)の利用に繋げることが出来なかった。 ・養殖出荷額は、メバルやタマンを中心にホテルを中心とした飲食業界へ安定的な出荷を実施し。 令和5年度については、養殖漁業者の廃業検討にともなう伊江漁協の養殖業参画への準備期間などにより出荷額が減少。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・実証用釣り筏を観光漁業メニュー体験者(806名)の内、83名が体験を実施。また、2校80名の修学旅行生を対象にモニタリングでの釣り筏体験を行った。 ・将来的に釣り筏でも活用できるよう養殖魚の飼育に努めた(出荷額:9,948千円) 【R1年度】 ・観光漁業メニュー体験者(210名)の内、体験を希望する方はいなかったが、村内の子供たちを対象にイベントを企画し48名が釣り筏を体験した。その後は、新型コロナウイルス感染症の影響により体験を実施することが困難であった。 ・将来的に釣り筏でも活用できるよう養殖魚の飼育に努めた(出荷額:9,248千円) 【R2～R5年度】 ・新型コロナウイルスの影響により、来島の制限(お願い)を行ったことなどにより観光客及び民泊の修学旅行生が減少し、利用者を見込めなかったため、損傷を防ぐため陸揚げを行い、修繕等に努めた。 ・将来的に釣り筏でも活用できるよう養殖魚の飼育に努めた(出荷額:R2_8,969千円、R3_14,618千円、R4_22,354千円、R5_2,911千円)	【H30年度】 ・観光客及び民泊事業者へ釣り筏施設の認知度向上を図る。 ・安定的な出荷額となるよう、飼育管理や販路の確保に努める必要がある。 【R1年度】 ・観光シーズン以外での、村民の利活用を促す企画等を検討する。 ・安定的な出荷額となるよう、飼育管理や販路の確保に努める必要がある。 【R2～R5年度】 ・今後はアフターコロナ、ウィズコロナの時代の中で、利用者の増に向けた取り組みを行う。 ・令和6年度においては、村の観光団体等と連携し体験メニューの実施に向けた取組を行う。 ・安定的な飼育に向け、後継者の確保及び販路拡大に努める。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・伊江村及び観光協会等と連携し、施設のパンフレットへの掲載及び独自のパンフレット配布、SNSでの発信など認知度向上に努める。 【R1年度】 ・学校、地域の各団体等と連携し、体験学習やイベントの開催など観光シーズン以外での、村民の利活用を促す取り組みを図る。 【R2～R4年度】 ・令和5年度以降、観光客や修学旅行生(民泊)の回復が見込まれることから現在の釣り筏は1回で50名ほどの利用となるため、釣り筏の拡充や釣り体験の周知活動を図りながら集客の増加に努める。また、釣り筏の施設整備や近隣の魚類養殖場の今後の利活用方法についても関係機関と調整し、活用できるよう取り組む。 【R5年度】 ・令和6年度、観光漁業推進の取組として、伊江島観光協会や伊江漁協観光部会と連携し民泊や観光客などの釣り筏体験モニターを受入れ、今後の海業支援施設整備に向けた取組を推進していく。 ・後継者の育成も含め、飼育技術の確立等、安定的な供給が出来るよう努める。

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村循環型農業促進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業 の振興		
担当部課名	農林水産課	伊江村堆肥センター	事業実施 年度	令和 4	～令和 4	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		R4年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	57,537				57,537	
	B. 執行済額	57,537				57,537	
	うち 交付金充当額	46,029				46,029	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
	執行状況の説明	入札残により当初予算から8,463千円減額した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R4年度	○年度	○年度	○年度
	・原料回収等購入	目 標	2台				
		実 績	2台				
	・自走式攪拌機導入	目 標	1機				
		実 績	1機				
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R4年度	○年度	○年度	○年度
	堆肥製造量	目 標	2,100t				
		実 績	2,100t				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R5年度	R6年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	堆肥製造量		目 標	2,500t	3,000t			
			実 績	2,606t	-			
			目 標					
			実 績					
状況説明	【R5年度】 ・R5年度より本格的に車両・機械を稼働し安定的な堆肥の供給を図ることができた。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 ・近年の化学肥料の高騰により堆肥への切り替えに伴い利用者が増えると予想されることから計画的な堆肥製造が求められる。				【R5年度】 ・利用者増に備え、効率的な堆肥製造の確立を目指す。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・今後も、より安定的な堆肥製造を確立させるため、さらなる機械導入など効率的な製造手法を検討する。								

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村防災体制機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと 防災体制の強化	
担当部課名	総務課		事業実施 年度	令和 3	～令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	沖縄県は、台風常襲地帯にあり本村においても台風等の自然災害時において、強風によって舞った飛散物によるガラス割れ等の被害が懸念されている。このことから、当該事業により公民館等の収容避難所施設の窓ガラスに飛散防止フィルム設置による防災機能の強化を図ることで、住民が安心して暮らせる環境整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和3年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	6,700				6,700	
	B. 執行済額	7,393				7,393	
	うち 交付金充当額	5,914				5,914	
	執行率(%) (B/A)	110.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	110.3%	
	執行状況の説明	予算の範囲内で適正な事業執行ができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	○年度	○年度	○年度
	飛散防止フィルムの貼付	目 標	8公民館				
		実 績	8公民館				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R3年度	○年度	○年度	○年度
	飛散防止フィルムの貼付完了	目 標	8箇所				
		実 績	8箇所				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R5年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	飛散防止フィルムを設置した各施設における災害時の窓ガラスの飛散件数(供用開始のR4を対象) :0件		目 標	0件				
			実 績	0件				
			目 標					
			実 績					
状 況 説 明	【R5年度】 ・R3年度に飛散防止フィルムを設置し、引続き台風等の自然災害に対し8公民館施設の防災機能強化を図ることができた。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 ・8公民館以外にも避難収容所として設定されている施設があるため、同様の施設防災機能強化が求められる。				【R5年度】 ・他の避難収容所に対しても同様以上の対策が講じられるよう、事業検討しながら取り組んでいく。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・今回設置した8公民館に対しては利用状況の把握や維持管理を行い、その他施設については、機能強化の必要性、緊急性など引き続き事業の検討・調査を行う。								